

目次

田中励儀教授 略歴および主要業績……………	(v)
山田和人教授 略歴および主要業績……………	(xxi)
走り出致——ハシルの意義に関わって……………	垣見修司…1
『聾瞽指帰』における中国故事の受容に関する一考察——『瑠玉集』と『蒙求』の古注をめぐって……………	柳川 響…14
『打聞集』における漢字表記の生成——連文漢語の利用をめぐって……………	藤井俊博…25
『平家物語』における〈法然〉の位置づけ……………	源 健一郎…39
『意馬心猿』図と『紀三井寺開基』の挿絵——図様の展開における相違の要因……………	高 永 珍…56
『津国女夫池』三段目小考——『二夜船』との比較を手掛りに……………	有 澤 知 世…69
『心中宵庚申』八百屋半兵衛の形象——身にふりかかる困難をめぐって……………	早 川 久 美 子…83
宝物不登場という趣向の利用——『諸道聴耳世間狙』一之巻三と演劇作品『大職冠』を中心に……………	王 欣…95
東随舎の写本随筆『続思出草紙』について……………	三 宅 宏 幸…109
美登利の変貌——樋口一葉「たけくらべ」にみる娼妓像と廢娼運動……………	笹 尾 佳 代…121
田山花袋「山の悲劇」論——「一兵卒」、「自然」、小島烏水から読み解く……………	熊 谷 昭 宏…134

谷崎潤一郎「ドリス」試論——イメージのなかの猫と「美容術」——	佐藤未央子	148
風が吹くということ——堀辰雄「眠れる人」から『風立ちぬ』へ——	榎山朋子	162
香を想う——幸田露伴「楊貴妃と香」の典拠と方法——	西川貴子	175
中島敦「狐憑」論——「木乃伊」との関係から——	杉岡歩美	188
井上靖『天平の薨』論——書き換えられた『東征伝』——	山田哲久	201
意味もなく、だらしなく生きる若者たち——大江健三郎『われらの時代』の消費文化——	瀬崎圭二	214
罅割れた作者——花田清輝「冠者伝」の思想——	加藤大生	227
宝塚歌劇「天の鼓——夢幻とこそなりにけれ——」と日本古典文学	植木朝子	240
〈資料紹介〉名古屋蓬左文庫蔵「古文真宝抄」(笑雲清三抄)の文英清韓書入れ注記——翻刻・解説——	山本佐和子	252
〈資料紹介〉住吉具慶筆「源氏物語図額」の紹介	岩坪健	266
〈資料紹介〉翻刻『聖徳太子職人鑑』(二)……	翻刻の会	281
〈資料紹介〉同志社大学蔵二条家文書の女性筆者資料	大山和哉	310
〈実践報告〉中学生の短詩型文学の創作から見えてくること	永田郁子	336
——和語・漢語・外来語の語感を生かした俳句創作の単元を中心に——		